

市民アンケート調査の実施について

アンケート実施概要

■ 目的

市立伊丹病院は昭和58年の開院後様々な機能を充実させながら伊丹市内における基幹的な病院としての役割を担ってきました。

近年は医療を取り巻く環境が目まぐるしく変化するなかにおいて、赤字経営が続いている状況にあり、また、開院後35年が経過し、建て替えを視野に入れた検討を始める時期にさしかかかっています。

本検討委員会において、市立伊丹病院の今後の方針を協議するにあたり、市民アンケートを実施することにより市民ニーズを把握し、検討委員会での議論の参考にさせていただくことを目的として実施します。

■ 実施期間

2018年7月1日～20日

■ アンケート配布対象者

満18歳以上の伊丹市民 3,000人

■ アンケート配布方法

無作為に抽出したアンケート対象者へ郵送で配布し、記入・返信いただくことで回収します

市民アンケート骨子

市民の受療動向や高度急性期病院に対するニーズを把握し、市内基幹病院に期待される役割や、将来の市立伊丹病院が担うべき機能に関し議論できる調査とします

アンケート質問項目		調査・分析の観点
市民属性	✓ 市民の属性情報 ・ 年齢、世帯状況、住所、医療関係者	■ アンケート分析にあたり、市民の属性に応じて医療受療やニーズがどのような傾向にあるかを見ます
伊丹市民の病院への受療動向	✓ 過去の入院受療経験 ・ 過去の市内・市外での入院受療経験の有無、医療機関名 ・ 過去受療時の病院の選定理由	■ 過去の本人、又は家族の入院経験に関して、どの医療機関へどのような経緯や契機で病院を選択したかを調査し、将来の担うべき役割についての検討材料とします
高度急性期病院へのニーズ ・ 基幹病院に期待される役割 ・ 病院間連携に関する認識	✓ 伊丹市内の医療ニーズ ・ 高度急性期病院の必要性 ・ 医療機関間での機能連携や統合再編に対する考え ・ 近畿中央病院、他の公立病院との連携 ✓ 市立伊丹病院への期待 ・ 医療サービス、利便性に関する期待 ・ 将来的な経営形態に対する考え ✓ 医療機関の機能分化・連携に関する考え ・ 機能分化、病院間連携に関する認識	■ 市内で高度急性期機能を充実させる場合、病院間の連携など、どのような手法をとるべきかを調査します ■ 市立伊丹病院と近畿中央病院との連携にかかる協定の締結を踏まえ、市内基幹病院間の連携にかかるニーズを調査し、協議の検討材料とします ■ 病院の医療サービス、利便性、経営形態に関するニーズを調査し、将来の市立伊丹病院が担うべき機能などの検討に必要な情報を収集します ■ 病院間連携に関する認識を調査し、市立伊丹病院が伊丹市内で他の病院との連携を機能に応じてどう展開すべきか、また市民へどう啓発、促進するのかの検討材料とします